

学校長 殿
理科担当主任教諭各位 殿

2019 年 (平 成 31) 年 度
公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成募集要項

※5月1日より新元号となることから西暦と旧年号を併用しております



TDK創立者
齋藤憲三先生
(明治31年2月11日～昭和45年10月31日)



TDK育ての親・当財団創設者
山崎貞一先生
(明治42年8月5日～平成10年11月20日)

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会について

齋藤憲三先生（秋田県にかほ市平沢出身、TDK株式会社創立者）は、生涯科学技術の振興に努められ、その研究と実践に情熱を傾けて多大の功績を残されました。当公益財団法人は先生の高風を敬慕し、その事蹟を顕彰するとともにその意志を継ぎ、故前理事長山崎貞一（TDK株式会社2代目社長）が中心となって昭和46年に設立されたものであります。

齋藤憲三先生の終生の念願であった科学技術の向上発展のためには、まず、少年時代から“科学する心”の芽を育成することが最も効果のあるものと考え、当公益財団法人はその事業の一つとして、秋田県の科学教育振興のため、毎年県内の小・中・高等学校・特別支援学校が推進する児童・生徒のグループ研究と教員の個人指導に対して助成金を贈呈しております。

平成31(2019)年度グループ研究の助成校及び教員の個人研究助成を別記要項により募集いたしますので、当公益財団法人の趣旨をご理解の上、是非応募活用下さるようご案内申し上げます。

(2019)平成31年4月

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

目 次

グループ研究助成募集要項	1
“グループ研究”助成申込書	4
助成研究報告書（グループ研究用）	7
グループ研究報告書要領	8
研究報告書見本	9
個人研究助成募集要項	10
“個人研究”助成申込書	11
助成研究報告書（個人研究用）	14
指導者の皆様へ	15
平成28年度 研究助成金助成校一覧	18
平成29年度 研究助成金助成校一覧	21
平成30年度 研究助成金助成校一覧	24

[別表] 研究助成状況①（昭和47年度～平成15年度）
研究助成状況②（平成16年度～平成30年度）

グループ研究助成募集要項

1. 応募資格

秋田県内の国公立小・中・高等学校（特別支援学校・定時制校等を含む）で児童・生徒の科学・技術する心の育成に、意欲的に取り組む学校であり、本年度のテーマを持って、研究活動しようとする児童・生徒のグループ。

2. 研究課題

自然科学等理科に係わる具体的なテーマであること。（理科の学習指導要項にあげられている内容そのものの研究よりも、それらに関連する問題を、更に深く掘り下げるとか、あるいは、郷土の自然に関する研究テーマ等がのぞましい。）

但し、高校の場合は、工業・農業・水産・家庭等に関する専門分野の研究テーマでもよい。

3. 助成研究の期間

助成研究の期間は、毎年4月1日から翌年1月23日までとします。

なお、継続的な課題研究であっても、1か年を区分とします。

4. 応募方法

当研究助成を希望される学校は、当会の、所定の応募用紙により、期限までに、申込み手続きをして下さい。（同一校からの応募は2件の場合は、必ずクラブ名を変えて下さい）

申込み・・・・・・・・・・・・・・・・別紙、様式-1①~③

(1) 期 限 5月9日(木) 必着のこと

(2) 記入内容

- ① 学校の概要と研究グループ及び研究形態
- ② 研究課題にその趣旨（簡潔に）
- ③ 助成金の使途内訳
- ④ 具体的な研究実施計画

(3) 応募書類の提出部数 顕彰会事務局用 1部 + 選考委員配布用 12部 = 計 13部

5. 助成校の選定と通知

当会の選考委員会で、審査の上、決定する。

その結果は、速やかに学校長宛に通知します。（5月下旬）

6. 助成校数及び助成金額

小 学 校	1 件当り	5 万円まで	10 件(校)程度
中 学 校	〃	10 万円まで	15 件(校)程度
高 等 学 校	〃	13 万円まで	30 件(校)程度
特別支援学校	〃	(小・中・高等学校に準ずる)	

本研究助成金は、債券（国債、社債等）の運用利息の収入で運営していますが、日本銀行の異次元の金融緩和政策及びマイナス金利導入の影響を受け、当顕彰会の収入が減少する非常に厳しい環境下にあります。

齋藤憲三先生の遺訓「科学する心」を後世に継承して行くために、今後金融市場が正常化するまでは、収入に見合った事業運営のため助成事業が縮小しますが、今まで同様に秋田県内の小・中・高校の理科教育に貢献して参りますのでご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

7. 助成金の使途

助成金は、研究課題の研究過程において、必要な器具、参考資料、交通費等諸経費に充当のこと。

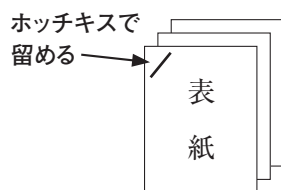
8. 研究結果の報告

助成研究は、翌年 1 月 23 日(木)までに、下記様式による研究報告書を、当会へ提出する。

継続研究の場合は、当年度 1 か年の研究報告書を提出する。

- 1) 表紙（別紙、様式－2①）には、下記内容を明記し、次の報告概要を付して提出する。
 - (1) 研究課題
 - (2) 学校名とクラブ名及び研究形態
 - (3) 指導教諭名
 - (4) クラブ生徒氏名及び写真貼付
 - (5) 学校長氏名及び学校長印
- 2) 報告概要（別紙、様式－2②）は研究報告書要領（P 8）により、下記事項を作成する。
 - (1) 研究の動機、目的またはねらい
 - (2) 研究のすすめ方、実施の方法及び経過内容
 - (3) 研究成果とまとめ
 - (4) 反省と今後の課題
 - (5) その他付記
 - ① 参考文献
 - ② 他団体への発表実績及び受賞状況
 - (6) 会計報告（領収書は不要）

3) 報告書の綴込み方法



指定の表紙（様式-2①）をつけて、最後尾のページに会計報告を入れて下さい。

報告書をファイル及びケースに入れないうご注意願います。

4) 研究報告書の提出部数 顕彰会事務局用 1 部 + 選考委員配布用 12 部 = 計 13 部 (下記 注：1 参照のこと)

注：1. 事務局用及び選考委員への報告書に用いた写真・図表・スケッチ・地図等は、印刷製本ができる程度の正確さ・鮮明さ（可能な限りカラーコピー推奨）を有するものとしてします。

2. 課題研究を中止とするときは、当会に通知し、助成金の返還を要することに留意して下さい。

9. 特 典

優秀な助成校に対しては、後日厳選の上、齋藤憲三・山崎貞一奨励賞として、賞状と共に、奨励金並びに記念の楯を贈り表彰する。

10. 参考（研究助成プロセス）

- | | | |
|----|-----------------|---|
| 1) | 研究助成校募集期間 | 4月8日～5月9日 |
| 2) | 研究助成申込書類提出期限 | 申込み 5月10日(金) 必着厳守のこと |
| 3) | 助成の決定、助成金交付 | ・助成の決定は5月下旬
・助成金交付は、研究助成認定証交付式
(6月7日(金) 於 秋田ビューホテル) |
| 4) | 助成研究の現地視察指導 | 9月2日～13日 |
| 5) | 助成研究報告書提出期限 | 2020年1月23日(木) |
| 6) | 齋藤憲三・山崎貞一奨励賞の選考 | 2020年2月14日(金) |
| 7) | 齋藤憲三・山崎貞一奨励賞の授賞 | 2020年3月17日(火)
齋藤憲三・山崎貞一奨励賞授賞式
(於 秋田ビューホテル) |

[申込先]

〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字立沢200番地

TDK株式会社 にかほ工場北サイト

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会事務局 小幡正則

TEL (0184) 35-6543 又は35-6515

FAX (0184) 35-6543 又は35-6586

ホームページアドレス：<http://www.saito-kenzo.jp>

メールアドレス：info@saito-kenzo.jp

受付日	年 月 日	番号	No.
-----	-------	----	-----

採	否
---	---

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 齋藤修一 殿

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 “グループ研究” 助成申込書

年 月 日提出

(1) 学校の概要と研究グループ				
学 校 名				
所 在 地	〒 _____ TEL No. FAX No.			
児 童 生 徒 数		学級数		教員数
研究グループ名			グループ 構成数	年生 人
研究形態 (<input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい)	<input type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> 課外 <input type="checkbox"/> その他 ()			年生 人
指 導 教 員	氏 名	専攻科目	校務分掌	担当クラブ
	(1)			
	(2)			
	(3)			
貴会の研究助成募集要項に基づき申込みます				
学校長氏名 _____				<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"> 学校長 印 </div>

(2) 研究課題とその要旨

イ. 研究課題

ロ. 研究課題の要旨（動機、ねらい、目的等）

(3) 助成金の使途内訳（具体的に）

助成申請額 万円

(4) 具体的研究実施計画

2019 年 度

公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 助成研究報告書 (グループ研究用)

年 月 日提出

研究課題：

[新規・継続]

<p>学校名及び クラブ名：</p> <hr/> <p>研究形態： <small>(☑チェックを 入れて下さい)</small></p> <p><input type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> 課外 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <hr/> <p>指導教諭：</p> <hr/> <p>生徒氏名： (代表) (年生)</p> <hr/> <p>(年生) (年生)</p> <hr/> <p>(年生) (年生)</p> <hr/> <p>(年生) (年生)</p> <hr/> <p>(年生) (年生)</p>	<p>指導の先生と部員メンバーの 写真を貼付下さい</p>
---	-----------------------------------

貴会より助成を受けた上記研究の成果を報告します

学校長
印

学校長氏名

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 齋藤修一 殿

— グループ研究報告書要領 —

1. 助成研究報告書は、次の要領で作成し、表紙（様式 - 2 ①）に付して提出する。

- (1) 用紙は A 4 サイズで、縦長、横書きとする。パソコン、ワープロ可。
A - 4 版手書きの場合必ずしも 400 字でなくてもよい。
- (2) 枚数は、文字、図表、写真類を含め 20 ページ以内に収まる枚数とする。
(1 ページには、横 23 字×縦 37 行の 2 段組で 1,702 字入る。—— 見本添付 (P 9)
従って、図表、写真類を含め、1,702 × 20 ページ以内に収めてください。)
- (3) 図、グラフ、コンピュータのプリント、写真類はできるだけ精選し、鮮明（可能な限りカラーコピー推奨）なものを用いる。
- (4) 指導された先生と部員メンバーの写真を表紙に貼付下さい。

2. 報告書の内容は、概ね、つぎの項目をもって構成する。

但し、必要に応じ、各項目の中を、適宜細分してかまわない。

- (1) 研究の動機、目的又はねらい（研究テーマの設定した事由と目的又は、ねらい、なお、継続テーマの報告のときは、前年までの研究概要も、要領よく記入する。）
- (2) 研究の進め方、実施の方法及び経過内容（どんな研究のやり方や考え方をもって、この課題に取組み推進しようとしたかを記し、研究の構想に添って、進められた具体的研究の方法、プロセスとその結果を、順を追って記す。又、必要に応じて図示、写示、項目を細分して説明する。）
- (3) 研究成果とまとめ（まとめとして、研究の完了結果と帰結、考察の結びを記す。）
- (4) 反省と今後の課題（研究の課題を振り返って、設定課題に対する成果が、十分に満足出来るものであったかどうかの反省と、残された課題や、更に、追求する為の課題につき記す。）
- (5) イ. 参考文献（研究を推進するに当たって、参考に付した文献を明記する。）
ロ. 研究発表実績及び受賞可否（当該研究につき、他団体に報告、発表、受賞の実績がある場合、その発表形態、時期、団体名、入賞結果を列記する。）
- (6) 会計報告（具体的に、支出の項目と金額を列記する。領収書は不要。）

以上

研究報告書見本

23字×37行×2段=1,702字

← 23字 →

← 23字 →

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	

個人研究助成募集要項

1. 応募資格

秋田県内の小・中・高等学校（特別支援学校・定時制校・高専等を含む）の理科学担当教育で、その職にあり、自然科学等（高校教員の場合は、工業・農業・水産・家庭等に関する専門分野の研究でもよい）に関する研究をしている者。又、意欲的にしようとしている者。

2. 研究課題

自然科学等に関する研究テーマであること。

但し、自己の資質を高め、以後の教育指導に役立つものであること。

3. 助成研究期間

原則として、翌年1月23日(木)までとする。

但し、研究課題の内容によっては、2～3年継続助成することもある。

4. 応募方法

当会所定の応募用紙（別紙様式－1 A～C）、所定事項を記入の上、申込みを行う。

その他応募方法は、グループ研究募集要項に同じ。

5. 助成研究者の選定と通知

グループ研究の選定と通知に同じ。

6. 助成件数と助成金額

1) 助成件数・・・3～5件

2) 助成金額・・・1件当たり 8万円まで

7. 助成金の使途

グループ研究の使途に同じ。

8. 研究結果の報告

研究結果の報告は、（様式－2 A）の表紙に、報告事項を適宜作成の上、報告する。

報告事項については、グループ研究募集要項に準ずる。

〔申込先〕 〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字立沢200番地 TDK株式会社 にかほ工場北サイト
公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会事務局 小幡正則
TEL (0184) 35-6543 / FAX (0184) 35-6543 又は35-6586
ホームページアドレス：<http://www.saito-kenzo.jp>
メールアドレス：info@saito-kenzo.jp

受付日	年 月 日	番号	No.
-----	-------	----	-----

採	否
---	---

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 齋藤修一 殿

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 “個人研究” 助成申込書

年 月 日提出

(1) 申込者身上					
(ふりがな) 申込者氏名	() 印	性別	年令	満	才
勤務先名 (学校名)		職名			
勤務先所在地	〒 _____ TEL No. FAX No.				
学歴 (最終)					
職歴					
研究歴					
上記申込者の研究は、貴会の助成対象にふさわしいものと認め推薦します					
学校長氏名 _____				学校長 印	

(2) 研究課題とその要旨	
イ. 研究課題	
ロ. 研究課題の要旨（動機、ねらい、目的等）	
(3) 助成金の使途内訳（具体的に）	
	<u>助成申請額</u> 万円

(4) 具体的研究実施計画

2019 年 度

公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 助成研究報告書 (個人研究用)

年 月 日提出

研究課題：

[新規・継続]

研究期間：

年 月 ~

年 月

貴会より助成を受けた上記研究の成果を報告します

所属名：

研究者氏名：

印

学校長氏名：

学校長
印

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 齋藤 修 一 殿

指導者の皆様へ

秋田県教育委員会

2019年度春の「公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成」の募集に対して、クラブ活動、部活動、総合的な学習の時間の学習グループ、及び選択教科理科の研究グループなどから積極的に御応募いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会の支援の基に県教育研究会理科部会が毎年秋に主催している全県児童生徒理科研究発表大会において、各校のグループ又は個人が地道に行っている研究成果を発表することも、子供たちの科学への夢を膨らませ、探究心の向上を保障する機会となっております。

この機に、秋の発表に向け、春から計画的に研究活動を進め、じっくりと取り組むことができるよう支援するとともに、率先して発表会に参加して意見交換することが期待されます。

自由研究の進め方

1 テーマを見付ける

テーマはこんなところにあります。

- ①授業の中で疑問に思う ②校内外を歩く ③人（友達や家族、先生に聞く）
- ④家の外に出る ⑤テレビを見る ⑥インターネット（ホームページ）で調べる
- ⑦遠足や社会見学で不思議に思う……など。つまり、どこにでもあるということです。

子供は、「熱しやすくさめやすい」のが当たり前です。いったん選んだ以上はこれを自分の問題として強く認識し、自力で探究していこうと努力する気持ちをもたせるために、テーマを決定するまでの留意点として

- (1) 教師は、日頃から理科の授業などを通して、子供自身が日常の事象を一応疑ってみる力を身に付けさせ、自然の物事・現象の中に不思議さを感じることができるよう感性を磨いてやる。
- (2) 子供が疑ってみたことに対して、教師も同じ目線で一緒に調べていくよう心掛ける。
- (3) 子供の強い興味に合致したテーマの選定や、個に応じたテーマを設定できるよう助言する。
- (4) 研究途中の激励や探究方法の発見に協力するなどの支援よりも、テーマ決定時に「郡市理科研究発表会で発表する」あるいは「○△科学論文コンクール」に出品するなどの途中駅や終着駅の目標をもたせるようにする。

このような教師の支援があって、初めて子供は自発的に努力するようになり、また、こうして得た結果味わう成功感や充実感は、体験者だけが感得できるものであって、これが、次のステップに強い探究意欲となって現れてきます。

これまで、全国のトップクラスの評価を受けた他県の中高生の研究例として、次のようなものがあります。

- ・「砂時計をひっくり返すと砂が全部落ちるまでの時間が違うのは、なぜ？」
- ・「スパゲッティが中央で折れないわけ？」

- ・「リンゴのあくはなぜできるの？」
 - ・「カタツムリの筋肉はどんなふう動く？キャタピラのように動いているのかな？」
 - ・「スルメを焼くとどうして決まった方にめくれあがる？」
 - ・「○○地方に雷が落ちやすいのはなぜ？」
- よいテーマは、意外と身近で誰もが注目しそうなものであるという共通点をもっています。

2 研究の進め方

(1) 研究の計画を立てる

①何を（何のために＝どんな目的で） ②いつ ③どこで ④どうやって（研究の方法）

(2) 気付いたことはノートに記録する→観察・実験のことだけでなく必要事項を全部メモする

(3) 観察・実験をする

①順序よくやる→簡単に結果の出るものは繰り返し行う。

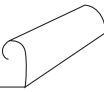
②比べるときは条件を考える→一つのことを比べるときは他の条件をすべて同じに→条件制御

③より正しく記録するために、利用できる機器をすべて利用する（カメラ、ビデオカメラ…）

3 研究のまとめ

(1) まとめる手順

(例)

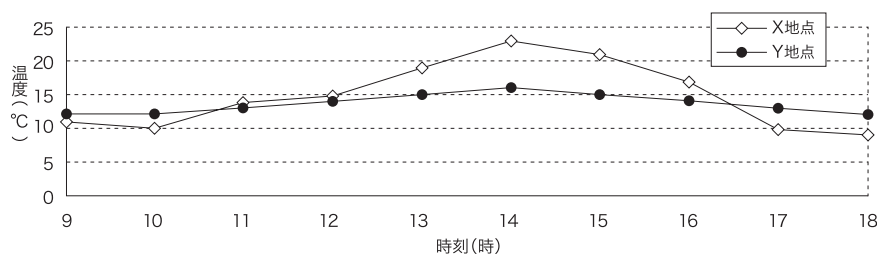
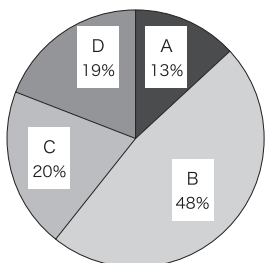
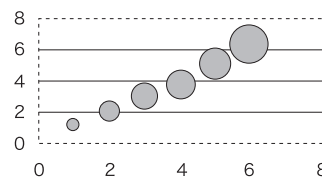
<ul style="list-style-type: none"> ・「きっかけは何なのか…生起している現象は、今まで学んだどんなことと関係があると考えたのか」 ・「気付いたこと、はっと思ったことから、どんなきまりを思い浮かべ、何と関係がありそうだったのか」 	<p>1 研究の動機 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分が何をどのように調べようとしたのか」 ・「どんなことをねらい、何をはっきりさせたかったのか」 	<p>2 研究の目的 ○○○○○○○○○○○○</p> <p>3 研究のすすめ方 ○○○○○○○○○○○○</p>
<p>※調べたことが複数ある場合は、内容ごとに方法と結果を載せる</p>	<p>4 研究の方法 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「何を調べるためにどんな方法で行ったのか」 	<p>5 研究の結果 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「結果はどうなったのか→グラフや表を使って…」 ※調べたことを全部表す必要はない→6につながるもののみ示す 	<p>6 研究のまとめ (わかったこと) ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「研究の結果から何が分かったのか」 ※分かったことは、読み手に伝わるよう分かりやすく簡潔に表す 	<p>7 反省と今後の課題 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「この部分がまだよく分からない」 ・「このところをもっと調べたい」 	

(2) まとめ方

- ①ノートやレポート用紙にまとめる（図表はのりで貼る）
- ②原稿用紙にまとめる（子供自身がワープロソフトで打つ）
- ③アルバムを使ってまとめる→分かりやすい
- ④模造紙にまとめる→研究発表会における一般的な方法→OHP
- ⑤ビデオ（物体の動きや動物の行動などコマ送りするのも一手段）
- ⑥パソコンのプレゼンテーションツールでまとめる→それだけで分かりやすいが、音声を吹き込んだものを作ると「発表」そのものを記録として残すことが可能になる。

(3) 図表や資料はもっとも適切なものを

- ①割合だったら、円グラフや帯グラフ
- ②時間を追っての変化だったら、折れ線グラフ
- ③二つの比較だったら棒グラフ…など適切なものを使う

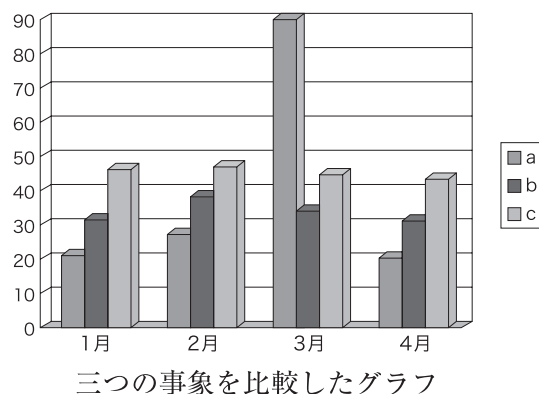


最大の秘訣は→迫力のある決定的な写真



いなずまの様子

インパクトのある分かりやすい図表



三つの事象を比較したグラフ

平成28年度 研究助成金助成校一覧

齋藤憲三・山崎貞一奨励賞受賞校 ★特別賞 ●金賞 ◎銀賞 ●銅賞

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
小 学 校	1		秋田市立旭北小学校 ザリガニ愛好会	ザリガニの研究	80,000円
	2		大仙市立大曲小学校 曲小指紋班	指紋の摩擦に関する研究	80,000円
	3	●	仙北市立西明寺小学校 「くりっこ サイエンスクラブ」	「給食のおつゆを運ぶとき なぜこぼれるの？」	80,000円
	4		由利本荘市立石沢小学校 サイエンスクラブ	肉をやわらかくするものは？ ～酵素についての研究～	80,000円
	5		由利本荘市立西目小学校 西目っこサイエンスクラブ	どの野菜も赤色と青色のLED光で早く育つのか	80,000円
	6	◎	にかほ市立平沢小学校 サイエンスクラブ グリーンフラッシュ観測班	グリーンフラッシュのひみつをさぐる 2	80,000円
	7		にかほ市立象潟小学校 サイエンスクラブ	象潟の環境を探れ！パート I	80,000円
	8	●	にかほ市立院内小学校 科学クラブ	「発電の研究」	80,000円
	9		にかほ市立上郷小学校 サイエンスクラブ	そば打ちを科学する	80,000円
	10		にかほ市立金浦小学校 科学クラブ	「植物が育つ」リポベジプロジェクト	30,000円
中 学 校	1	★	由利本荘市立大内中学校 科学部	紙風船が語りかけるもの（本編）	120,000円
	2	●	由利本荘市立大内中学校 科学部カブトムシ博士	カブトムシと環境のつながり	120,000円
	3	◎	由利本荘市立西目中学校 科学部着水音研究班	着水音の科学	120,000円
	4		由利本荘市立西目中学校 科学部餅保存法研究班	柔らかさを長餅	120,000円
	5		にかほ市立仁賀保中学校 理科部	文房具の不思議を科学する ～消せるボールペンの謎を解きながら～	120,000円
	6		仙北市立角館中学校 科学部	「溶岩の流れ方の観察」～防災とからめての観察	120,000円
	7		大仙市立大曲中学校 科学部	メダカの生態～たくさん繁殖させるには～	120,000円
	8		大仙市立西仙北中学校 生活文化部科学研究班	ひまわり しんび 日向葵の神秘を探る ～日向葵の向日性の謎に迫る～	120,000円
	9	●	大仙市立中仙中学校 造形部・生物スケッチ班	トミヨ属雄物型が斉内川に生息できるのはなぜか Part II	120,000円
	10		美郷町立美郷中学校 総合科学部	トミヨ属雄物型の研究 Part. 5	120,000円
	11		横手市立横手明峰中学校 科学部	黒板をきれいに消すためには part 2	120,000円
	12		横手市立横手南中学校 科学部	納豆菌パワーの秘密を探れ！！ ～納豆の過去・現在・未来～	120,000円
	13		秋田県立横手清陵学院中学校 自然科学部	人間の記憶力の研究	120,000円
高 学 校	1		秋田県立大館鳳鳴高等学校 生物部	東北地方のヒトの虹彩色の違いに着目した人類学的研究	150,000円
	2	●	秋田県立大館鳳鳴高等学校 化学部	新規ピリジン誘導体を用いた色素増感太陽電池の機能	130,000円
	3		秋田県立花輪高等学校 野菜ロケット班	野菜ロケットを用いたカタラーゼ酵素量の測定とその反応条件について	100,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	4	◎	秋田県立大館国際情報学院高等学校 科学部	秋田県北部に分布する湧水の研究Ⅱ	150,000円
	5		県立能代高等学校 理数科2年課題研究 物理班	モデルロケットの製作および打ち上げ	100,000円
	6	●	県立秋田北鷹高等学校 課題研究班	マイヅルテンナンショウの生育環境適地調査と 遺伝子調査	100,000円
	7		秋田県立秋田北鷹高等学校 科学部	家庭の温室効果ガス削減へ！ 太陽熱を活用した「生ごみ乾燥装置」の開発	150,000円
	8		秋田県立男鹿海洋高等学校 課題研究 資源増殖班	バテイラ種 (Omphalius pfeifferi pfeifferi:シタナミ)に 適した好適環境水の精製と増殖方法の研究 Part2	130,000円
	9		秋田県立男鹿海洋高等学校 課題研究 製作B班	ハタハタ雄・雌選別機の製作 Part 2	150,000円
	10	◎	秋田県立秋田中央高等学校 躍進探究部生物班	動く植物オジギソウの謎にせまる ー学習行動と反応調節のメカニズムについてー	150,000円
	11		秋田県立秋田中央高等学校 躍進探究部化学班	欠けた結晶はどう修復されるのか	130,000円
	12	●	秋田県立秋田北高等学校 数理探究クラスF組 動物班	ウミホタルの生態を解明する	150,000円
	13		秋田県立秋田北高等学校 数理探究クラスF組 植物班	植物の成長促進と生理活性の活用についての基 礎実験	150,000円
	14		秋田県立秋田高等学校 理数科課題研究生物班	食品保存料ナイシンの有効的な利用方法につい ての研究	130,000円
	15		秋田県立秋田高等学校 生物部がん研究班	突然変異抑制効果を持つ物質の探索に関する研究	150,000円
	16		秋田県立秋田南高等学校 自然科学部脱臭研究班	コーヒー豆による脱臭効果の研究	130,000円
	17		県立秋田南高等学校 自然科学部生活習慣病班	メダカを用いた生活習慣病の研究②	150,000円
	18		秋田県立金足農業高等学校 科学部・ミツバチ研究班	ミツバチプロジェクト ～金農ハチミツの生産を目指して～	150,000円
	19	●	秋田県立新屋高等学校 理科研究部	秋田県におけるセキレイ類の生態と分布の研究②	150,000円
	20		秋田県立由利工業高等学校 科学部	星の瞬きの数値化と観天望気	130,000円
	21	●	秋田県立由利工業高等学校 ロボット研究部	塩ビ管のレール上を走行する自立型ロボットの研究	150,000円
	22	◎	秋田県立本荘高等学校 光探究班	コレステリック液晶の色相についての研究	130,000円
	23		秋田県立本荘高等学校 生命探求班	カビの発育条件と阻害方法	150,000円
	24		秋田県立大曲工業高等学校 環境データ無線送受信研究グループ	環境データの無線送受信に関する研究Ⅰ	100,000円
	25		秋田県立大曲工業高等学校 ドローン研究グループ	ドローンに関する研究Ⅰ	100,000円
	26		秋田県立大曲農業高等学校 太田分校 GLクラブ(グリーンライフ)	特別栽培米及び無農薬野菜太田分校版の栽培法 確立に向けての研究	150,000円
	27		秋田県立大曲農業高等学校 生物工学部	電気分解後の田沢湖水中に含まれる金属イオンの 吸着方法についての研究	150,000円
	28		秋田県立増田高等学校 水田プロジェクト班	秋田県における穀物由来の酵素開発とその利用 について	130,000円
	29		秋田県立増田高等学校 果樹研究G P	アキタゴールド (リンゴ) に関する研究 ～幻のリンゴ復活を目指して～	150,000円
	30		秋田県立横手高等学校 理数科2年地学班	湧き水の研究 ～水質と地質に着目して～	150,000円
	31		秋田県立横手清陵学院高等学校 メカトロ部	段差昇降を行う移動ロボットの研究・製作	150,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	32		秋田県立横手清陵学院高等学校 自然科学部／探究VERA班	電波望遠鏡 VERA によるレーザー天体の効率的な探索法	130,000円
	33		秋田県立湯沢翔北高等学校 課題研究 ロボット班	異なる形状の物を取り込み、高さのある台の上に載せる機構を備えたロボットの製作	100,000円
	34	◎	秋田県立湯沢翔北高等学校 課題研究 制御班	P I D制御の研究	100,000円
個 人	1		須田 宏 県立大曲工業高等学校	小学校・中学校における電気に関する出張授業の実践に関する研究	100,000円
	2		高橋健一 秋田大学教育文化学部附属小学校	「小学校理科における誤差や個人差の取り扱いを手掛かりとした理科の授業改善」	100,000円
	3		高橋 正義 県立秋田きらり支援学校	どこでもスイッチ“O A K”で肢体不自由児の生活を支援する～ Part 2 ～	70,000円
	4		根守 潤 県立由利工業高等学校	キレート滴定法における色の数値化とその活用について	70,000円
	5		遠藤 金吾 県立秋田南高等学校	食品保存料ナイシンの有効的な利用方法についての研究（4）	60,000円
	6		小林 国元 県立湯沢翔北高等学校専攻科	フライスによる切削加工技術の研究	60,000円
	7		渡邊 義典 秋田県立湯沢翔北高等学校	汎用旋盤による切削加工技術の研究	60,000円
合 計					7,400,000円

平成29年度 研究助成金助成校一覧

齋藤憲三・山崎貞一奨励賞受賞校 ●金賞 ◎銀賞 ●銅賞
※平成28年度までにあった特別賞はなくなりました

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
小 学 校	1	●	能代市立鶴形小学校 鶴っ子8(エイト)調べ隊	鶴の恩返し隊－鶴形そばの秘密を探検	50,000円
	2		秋田市立旭北小学校 ザリガニ愛好会	ザリガニの研究2	50,000円
	3	◎	仙北市立西明寺小学校 「くりっこサイエンスクラブ」	「うずに関する研究」	50,000円
	4		由利本荘市立大内小学校 科学クラブ	美肌バナナを保つには？	50,000円
	5	●	由利本荘市立鶴舞小学校 テッポウユリの不思議追究委員会	テッポウユリの花被の気孔	50,000円
	6		由利本荘市立西目小学校 西目っこサイエンスクラブ	食塩水に充電する	50,000円
	7		にかほ市立平沢小学校 サイエンスクラブ 夜空の明るさ観測班	仁賀保地区の夜空はどれくらいの明るさか？	50,000円
	8		にかほ市立象潟小学校 サイエンスクラブ	象潟の環境を探れ！パート2	30,000円
	9		にかほ市立金浦小学校 科学クラブ	大きく美しく育て！金魚やグッピー	50,000円
中 学 校	1		県立秋田南高等学校中等部 自然科学部1年生班	色とはどういうものなのか	95,000円
	2		県立秋田南高等学校中等部 自然科学部2年生班	身近にあるカビを知る	95,000円
	3	●	由利本荘市立大内中学校 科学部	紙風船はたたくとなぜふくらむか ～空気の分子・音による考察～	100,000円
	4		由利本荘市立西目中学校 科学部線香研究チーム	横たわる線香の謎	95,000円
	5	●	由利本荘市立西目中学校 科学部餅研究チーム	どこでもモチ餅	95,000円
	6		にかほ市立仁賀保中学校 理科部	おもちゃの不思議を科学する～ギネス記録をねらえる紙飛行機の開発とスライム・スーパーボールの弾力の研究～	100,000円
	7		仙北市立角館中学校 科学部	野菜が発芽するしくみと条件について	100,000円
	8		大仙市立大曲中学校 科学部	イカの発光バクテリアの培養について	100,000円
	9	●	美郷町立美郷中学校 総合科学部	トミヨ属雄物型の研究 Part. 6	100,000円
	10		横手市立横手明峰中学校 科学部	「ほこりの研究～学校内を清潔に保つためには」	100,000円
	11		横手市立横手北中学校 科学部	凧の科学 ～横手や湯沢の凧の特徴とその秘密を探る～	100,000円
	12	◎	横手市立横手南中学校 科学部化学班	Let's shiny 銅！	95,000円
	13		横手市立横手南中学校 科学部物理班	反り返るポテトチップス	95,000円
	14		横手市立十文字中学校 科学部	果物の糖度を上げるには	100,000円
	15	◎	県立横手清陵学院中学校 自然科学部温泉班	温泉卵の研究2 ～黒たまごを秋田の名産品にするために	95,000円
	16		県立横手清陵学院中学校 自然科学部昆虫班	はらぺこアオムシの研究 ～横手市のシロチョウ類の生態を探る	95,000円
高 校	1		県立大館鳳鳴高等学校 生物部	ニホンザリガニ保護プロジェクト	130,000円
	2	●	県立大館鳳鳴高等学校 化学部	ゼオライト触媒を用いたヒドロキシクマリン類の合成 －ヒドロキシクマリン類のDSC機能－	110,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研究課題	助成金
高 校	3		県立大館桂桜高等学校 3年土木・建築科橋梁模型班	橋梁模型の製作	110,000円
	4		県立大館桂桜高等学校 機械科3年 課題研究班	メカナムホイールを用いた全方向移動可能な車 いすの研究・製作	130,000円
	5		県立大館国際情報学院高等学校 科学部	地域産植物の染色資源としての利用	110,000円
	6		秋田県立能代高等学校 理数科2年課題研究 物理班(ロケット)	モデルロケットの製作および打ち上げ	120,000円
	7		県立秋田北鷹高等学校 秋田北鷹ケイボンクラブ	地域に根ざした比内地鶏去勢鶏の新たなる生産方法の確立 ～第2報 秋田北鷹高校のオリジナルな飼育方法と脂肪酸の研究～	130,000円
	8		県立秋田北鷹高等学校 科学部クリクラ	家庭の温室効果ガス削減へ！太陽熱を活用した 「生ごみ乾燥装置」の開発Ⅱ	130,000円
	9		県立男鹿海洋高等学校 課題研究 資源増殖班	パテイラ種 (Omphalius pfeifferi pfeifferi : シタナミ) に適した好適環境水の精製と増殖方法の研究 Part 3	130,000円
	10		県立男鹿海洋高等学校 課題研究 ハタハタ選別班	ハタハタ雄・雌選別機の製作 Part 3	130,000円
	11		県立秋田中央高等学校 躍進探究部物理班	小型風力発電風車の形状と発電効率向上に関する 研究	130,000円
	12	◎	県立秋田中央高等学校 躍進探究部化学班	正八面体食塩～その性質と最適な媒晶剤～	130,000円
	13	◎	県立秋田高等学校 理数科課題研究緑茶班	緑茶の成分と抗生物質の抗菌作用との関係	130,000円
	14		県立秋田高等学校 理数科課題研究有用微生物作製班	遺伝子組換え微生物を用いた有害物質の回収	130,000円
	15		県立秋田南高等学校 自然科学部	コーヒー豆による脱臭効果の研究②	130,000円
	16	●	県立金足農業高等学校 科学部・ミツバチ生態研究班	ミツバチプロジェクト～ミツバチの生態研究に よる地域貢献を目指して～	130,000円
	17		県立新屋高等学校 理科研究部	秋田県におけるセキレイ類の生態と分布の研究③	130,000円
	18		県立秋田北高等学校 数理探究クラスF組 動物班	ウミホタルの生態を解明する	130,000円
	19		県立秋田北高等学校 数理探究クラスF組 植物班	植物の成長促進と生理活性の活用についての基 礎実験	130,000円
	20		県立秋田工業高等学校 泡文字プロジェクト	流体中における気泡の大きさと動きに関する研究	130,000円
	21		県立本荘高等学校 化学探求班	塩水による錆の発生と錆の広がり	130,000円
	22	●	県立本荘高等学校 物理探究班	高低2点間を運動する小球の最短到達時間の研究	130,000円
	23		県立大曲農業高等学校 太田分校 GLクラブ (グリーンライフ)	特別栽培米及び無農薬野菜太田分校版の栽培法 確立に向けての研究 Part Ⅱ	130,000円
	24		県立大曲工業高等学校 生物工学部	電気分解時の沈殿物発生抑制の研究	130,000円
	25		県立増田高等学校 作物生理研究班	「天然型オリゴ糖の一考察」	110,000円
	26		県立横手高等学校 理数科2年地学班	横手市とその周辺の温泉の科学的特徴について	130,000円
	27		県立横手城南高等学校 科学部	秋田県県南地区の温泉の起源を調べる	130,000円
	28		県立横手清陵学院高等学校 自然科学部ブタナ班	ブタナ (キク科) の花の開閉メカニズムの解明	130,000円
	29	◎	県立横手清陵学院高等学校 総合技術科/環境エネルギー研究班	身の回りのエネルギー源から得られる電力の可 視化に関する研究	130,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	30		県立湯沢翔北高等学校 課題研究 ロボット班	多方向へ自在に動き、伸縮するハンド機構を備えたロボットの製作	130,000円
	31		県立湯沢翔北高等学校 課題研究 制御班	P I D制御の研究②	130,000円
個 人	1	須田 宏 県立大曲工業高等学校	重力加速度(振り子)の小・中・高のつながりを考慮した遠隔授業等の開発	70,000円	
	2	東海林拓郎 県立秋田北鷹高等学校	環境教育プログラムの実施にかかわる評価方法の確立	70,000円	
	3	高橋 正義 県立秋田きらり支援学校	ローコスト視線入力装置でA君の学習を支援する ～パート2～	70,000円	
	4	高橋 健一 男鹿市立船越小学校	コミュニティ・スクールの機能を活かした防災教育の充実に関する研究～理科学習を中心とした授業づくりを通して～	70,000円	
	5	伊藤 匡 県立秋田高等学校	アクティブ・ラーニングによる探究活動の指導「トントン・紙コップ相撲2017」	70,000円	
	6	瀬々 将吏 県立横手清陵学院高等学校	セル・オートマトンによる教科横断的な課題研究プログラムの開発	60,000円	
	7	小林 国元 県立湯沢翔北高等学校	フライス盤による完璧な六面体(直方体)の製作	60,000円	
	8	渡邊 義典 県立湯沢翔北高等学校	汎用旋盤による切削加工技術の研究	60,000円	
合 計					6,460,000円

平成30年度 研究助成金助成校一覧

齋藤憲三・山崎貞一奨励賞受賞校 ●金賞 ◎銀賞 ●銅賞
 ※平成28年度までにあった特別賞はなくなりました

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
小 学 校	1	◎	能代市立鶴形小学校 鶴小福笑い発見隊	モリアオガエルのメッセージを探れ!	50,000円
	2	●	秋田市立旭南小学校 「旭南路」研究会	「旭南路」の研究	50,000円
	3		大仙市立西仙北小学校 「エレクトリックパワーズ」	ワイヤレス給電に関する研究	50,000円
	4		由利本荘市立大内小学校 科学クラブ	くんせいのひみつを探る	50,000円
	5	◎	由利本荘市立鶴舞小学校 テッポウユリの不思議追究委員会	テッポウユリの花被の気孔Ⅱ	50,000円
	6		にかほ市立平沢小学校 サイエンスクラブ 流星観測班	流星のひみつをさぐる	50,000円
	7		にかほ市立金浦小学校 科学クラブ	観賞魚を大きく美しく育てる	50,000円
中 学 校	1		県立秋田南高等学校中等部 自然科学部猿田川研究班	猿田川の研究	100,000円
	2		県立秋田南高等学校中等部 自然科学部植物研究班	いろいろな植物の葉緑体について	100,000円
	3	◎	由利本荘市立大内中学校 科学部エビちゃんず	密閉容器から出る音の考察 ～波形に見られる第4の音の分析～	100,000円
	4	●	由利本荘市立本荘東中学校 科学部	「水田に生息する微生物の研究」	100,000円
	5	●	由利本荘市立西目中学校 科学部着水音研究班	着水音と音階の謎	100,000円
	6		由利本荘市立西目中学校 科学部餅研究班	モチモチを長餅	100,000円
	7		仙北市立角館中学校 科学部岩石班	「駒ヶ岳の溶岩の性質と噴火による被害の関係性」	100,000円
	8		仙北市立角館中学校 科学部植物班	「野菜が発芽するしくみと条件について Ⅱ」	100,000円
	9		大仙市立西仙北中学校 生活文化部科学班	鳥海山が見えると、本当に雨がふるのか?	100,000円
	10		大仙市立大曲中学校 科学部	線香の煙の除去	100,000円
	11		美郷町立美郷中学校 総合科学部	トミヨ属雄物型の研究 Part. 7	100,000円
	12	●	横手市立横手明峰中学校 科学部	「ホコリの研究 Part 2 ～学校内を清潔に保つためには」	100,000円
	13		横手市立横手北中学校 科学部	発泡入浴剤を長持ちさせるには	100,000円
	14		横手市立横手南中学校 科学部鈴木汰一	塩水の不思議な冷え方	100,000円
	15		横手市立横手南中学校 科学部女子班	文字ののり方・にじみ方の秘密を探れ!	100,000円
	16	◎	横手市立十文字中学校 科学部	和紙の特徴と魅力を探れ ～伝統工芸、十文字和紙から学べ～	100,000円
	17		県立横手清陵学院中学校 自然科学部食品班	美味しい乾燥食品を作るには ～身近な食材の保存性と旨味を高める	100,000円
	18		県立横手清陵学院中学校 自然科学部宝石班	切磋琢磨～琥珀の原石を磨こう	100,000円
高 校	1		県立大館鳳鳴高等学校 生物部	ニホンザリガニ保全プロジェクト	130,000円
	2		県立大館鳳鳴高等学校 化学部	ゼオライト触媒を用いたポリ乳酸と乳酸エステル合成	130,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	3		県立大館国際情報学院高等学校 科学部染色班	地域産植物の染色資源としての利用Ⅱ	110,000円
	4		県立大館国際情報学院高等学校 科学部酸性白土班	湧水の水質と酸性白土の陽イオン交換能	130,000円
	5		県立能代高等学校 2年理数科課題研究物理班(ロケット)	モデルロケットの製作および打ち上げ	130,000円
	6		県立秋田北鷹高等学校 秋田北鷹ケイボンクラブ	地域に根ざした比内地鶏去勢鶏の新たなる生産方法の確立～ 第3報 秋田北鷹高校のオリジナルな飼育方法と脂肪酸の研究～	130,000円
	7		県立男鹿海洋高等学校 課題研究波力発電班	ネオジム磁石を用いた波力発電	130,000円
	8		県立男鹿海洋高等学校 課題研究ハタハタ選別班	ハタハタ雄・雌選別機の製作 PartⅣ	130,000円
	9		県立秋田中央高等学校 躍進探究部物理班	小型風車の回転に影響を与える要素に関する研究	130,000円
	10	●	県立秋田中央高等学校 3年理系生物班	マット添加物によるカブトムシの体色変化と体 重増加率について	130,000円
	11	◎	県立秋田高等学校 生物部緑茶班	緑茶の成分と抗生物質の抗菌作用との関係②	130,000円
	12		県立秋田高等学校 生物部酸化ストレス応答班	酸化ストレス応答を誘導する物質の探索 ～生活習慣病の改善を目指して～	130,000円
	13		県立金足農業高等学校 科学部	ミツバチプロジェクト ～ニホンミツバチとハチノスツブリガの生態研究～	130,000円
	14		県立新屋高等学校 理科研究部	秋田県におけるセキレイ類の生態と分布の研究④	130,000円
	15		県立秋田北高等学校 ウミホタル班	ウミホタルの雌雄間コミュニケーションを読み解く	130,000円
	16		県立秋田北高等学校 プラナリア班	プラナリアでは視物質がユビキタス発現しているか	130,000円
	17	◎	聖霊女子短期大学付属高等学校 科学部ビスマス班	ビスマスの結晶を安定してつくる方法の確立	130,000円
	18		県立秋田明德館高等学校 スペース・イオ10科学クラブロボット制御班	ロボットを制御するプログラムの開発	60,000円
	19	◎	県立本荘高等学校 科学部物理班	斜面をころがる小球の最短時間の研究	100,000円
	20		県立由利工業高等学校 科学部	ダイヤモンドの合成	130,000円
	21		県立大曲農業高等学校 太田分校 GLクラブ(グリーンライフ)	特別栽培米及び無農薬野菜太田分校版の栽培法 確立に向けての研究 PartⅢ	130,000円
	22		県立大曲農業高等学校 生物工学部	田沢湖に流入する沢に生息する微生物に関する調査	130,000円
	23		県立大曲農業高等学校 課題研究野菜班	消費者が求める野菜流通形態の研究	130,000円
	24		県立平成高等学校 保健委員会	夏季における教室の温熱環境の快適性に関する研究	130,000円
	25		県立横手高等学校 理工部	ビスマスの結晶化とその条件に関する研究	110,000円
	26		県立横手城南高等学校 科学部	温泉の起源を探る ～化学成分・地温分布・地下水位に着目して～	130,000円
	27		県立横手清陵学院高等学校 自然科学部放射線班	放射性同位体K40の測定による植生物のカリウム 含有率と水質、土質の関係調査研究	130,000円
	28	●	県立湯沢翔北高等学校 課題研究課題ロボット班	マイコンによってロボットの動きを制御し、半 自動の機構を備えたロボットの製作	130,000円
	29		県立湯沢翔北高等学校 課題研究制御班	GPSを利用したモータ制御の研究	130,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
個 人	1		高橋 正義 県立秋田きらり支援学校	ローコスト視線入力装置を活用した肢体不自由児のコミュニケーション指導における実践研究	80,000円
	2		遠藤 金吾 県立秋田高等学校	「理数系探究活動」の評価に関する研究	80,000円
	3		小林 国元 県立湯沢翔北高等学校	立フライス盤による完璧な六面体(直方体)の製作②	80,000円
	4		渡邊 義典 県立湯沢翔北高等学校	ヤスリ・キサゲによる仕上げ技術の研究	80,000円
合 計					6,120,000円

[別表] 研究助成状況① (昭和47年度～平成15年度)

公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

区 分	小 学 校				中 学 校				高 等 学 校				特 別 支 援 学 校			教 職 員		団 体 ・ 他				合計金額	助成校数	助成件数	参加人員	
	校数	件数	金額	参加人員	校数	件数	金額	参加人員	校数	件数	金額	参加人員	校数	金額	参加人員	人員	金額	数	金額	数	金額					
昭和47年度	3	3	900	21	3	3	1,200	36	1	1	500	8							千円			千円	2,600	7	7	65
昭和48年度	9	9	900	86	6	6	1,200	78	2	2	500	26											2,600	17	17	190
昭和49年度	8	8	800	102	6	6	1,200	86	3	3	750	46				7	550	1	100				3,400	17	25	241
昭和50年度	8	8	800	105	8	8	1,200	85	2	2	500	50				8	700						3,200	18	26	248
昭和51年度	6	6	600	106	6	6	900	76	2	2	500	36				11	1,000						3,000	14	25	229
昭和52年度	9	9	900	112	7	7	1,050	91	2	2	500	18				8	900						3,350	18	26	229
昭和53年度	4	4	400	109	5	5	750	79	2	2	500	43				8	850						2,500	11	19	239
昭和54年度	10	10	1,000	139	10	10	1,500	134	3	3	750	38				5	600						3,850	23	28	316
昭和55年度	16	16	1,600	179	11	11	1,650	152	1	1	250	34				5	700						4,200	28	33	370
昭和56年度	19	19	1,900	248	16	16	2,400	337	3	3	750	52				5	500	1	1,000				6,550	38	44	642
昭和57年度	11	11	1,100	139	10	10	1,500	94	2	2	500	51				7	900	1	300				4,300	23	31	291
昭和58年度	16	16	1,600	185	10	10	1,500	177	2	2	500	39				7	1,000	2	730				5,330	28	37	408
昭和59年度	18	18	1,800	255	13	13	1,950	185	3	3	700	46				5	800	4	1,050				6,300	34	43	491
昭和60年度	20	20	2,000	353	17	17	2,550	185	2	2	500	39				5	700						5,750	39	44	582
昭和61年度	19	19	1,900	221	15	15	2,250	207	3	3	750	60				5	750	1	1,000				6,650	37	43	493
昭和62年度	18	18	1,800	367	10	10	1,500	95	5	5	1,250	91				6	900						5,450	33	39	559
昭和63年度	18	18	1,800	271	10	10	1,500	100	3	3	750	59				3	600	3	900	特別1	2,000		7,550	31	38	433
平成元年度	18	18	1,800	240	9	9	1,275	89	3	3	750	36				2	200	1	500	特別1	2,000		6,525	30	34	367
平成2年度	17	17	1,700	273	13	13	1,950	150	2	2	400	21				3	550			特別1	2,000		6,600	32	36	447
平成3年度	23	23	2,300	358	7	7	1,050	78	2	2	500	42				4	800			特別1	2,000		6,650	32	37	482
平成4年度	24	24	2,400	324	23	23	3,400	323	9	9	2,250	65	2	350	15	2	450			大学1	4,000		12,850	58	61	729
平成5年度	14	14	1,400	188	12	12	1,800	127	4	4	1,000	65	1	200	4	2	500			大学1	4,000		8,900	31	34	386
平成6年度	25	25	2,500	295	17	17	2,550	202	7	7	1,750	117	2	250	21	1	200			大学1	4,000		11,250	51	53	636
平成7年度	19	19	1,900	245	13	13	1,950	179	7	7	1,750	89				1	200			大学1	4,000		9,800	39	41	514
平成8年度	21	21	2,100	277	15	15	2,250	215	8	8	1,840	99				1	200			大学1	4,000		10,390	44	46	592
平成9年度	20	20	2,000	208	13	13	1,950	100	7	7	1,610	68	2	300	35					大学1	4,000		9,860	42	43	411
平成10年度	32	32	3,200	411	14	14	2,100	192	4	4	920	45	1	150	34					大学1	4,000		10,370	51	52	682
平成11年度	19	19	1,900	284	13	13	1,950	127	2	2	460	21								大学1	4,000		8,310	34	35	432
平成12年度	12	12	1,130	161	14	14	2,100	223	5	5	1,150	39	2	300	42					大学2	5,000		9,680	33	35	465
平成13年度	18	18	1,790	306	15	15	2,230	156	6	6	1,380	103								大学2	4,800		10,200	39	41	565
平成14年度	13	13	1,300	210	17	17	2,550	231	5	5	1,150	38				1	200			大学2	2,500		7,700	35	38	480
平成15年度	11	11	1,060	132	18	18	2,620	193	6	6	1,210	43				1	200						5,090	35	36	369

[別表] 研究助成状況② (平成16年度～平成30年度)

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

区 分	小 学 校				中 学 校				高 等 学 校				特 別 支 援 学 校			教 職 員		団 体 ・ 他				合計金額	助成校数	助成件数	参加人員
	校数	件数	金額	参加人員	校数	件数	金額	参加人員	校数	件数	金額	参加人員	校数	金額	参加人員	人員	金額	数	金額	数	金額				
平成16年度	校 11	件 11	千円 1,060	人 127	校 15	件 15	千円 2,400	人 151	校 5	件 5	千円 1,200	人 38	校	千円	人	人 1	千円 200		千円		千円	千円 4,860	31	32	317
平成17年度	11	11	1,180	138	14	14	2,160	199	4	4	990	40				1	200					4,530	29	30	378
平成18年度	12	12	1,270	135	13	13	1,950	149	7	7	1,690	42										4,910	32	32	326
平成19年度	11	11	1,110	262	13	13	2,100	131	7	7	1,700	42				1	200					5,110	31	32	436
平成20年度	15	15	1,570	322	11	11	1,790	131	8	8	2,000	63				4	800					6,160	34	38	520
平成21年度	11	11	1,130	297	12	12	1,970	112	9	13	3,150	159				5	800					7,050	32	41	573
平成22年度	13	14	1,330	389	14	15	2,400	138	12	18	3,900	158				1	100					7,730	39	48	686
平成23年度	10	11	1,010	135	14	15	2,330	119	13	22	4,370	198				1	200					7,910	37	49	453
平成24年度	9	9	910	95	13	13	2,090	140	17	25	5,820	282				1	200					9,020	39	48	518
平成25年度	8	8	820	96	13	15	2,560	147	16	27	6,480	301				3	600					10,460	37	53	547
平成26年度	11	11	1,040	163	16	17	2,500	176	20	33	6,590	359				7	700					10,830	47	68	705
平成27年度	10	10	890	116	13	15	2,200	137	18	30	6,000	278				6	850					9,940	41	61	537
平成28年度	10	10	750	123	11	13	1,560	145	21	34	4,570	282				7	520					7,400	42	64	557
平成29年度	9	9	4,300	78	12	16	1,560	151	21	31	3,940	209				8	530					6,460	42	64	446
平成30年度	7	7	350	62	13	18	1,800	169	22	34	3,650	231				4	320					6,120	42	63	466
合 計	701	658	65,130	9,448	573	591	88,895	6,977	318	416	84,620	4,309	10	1,550	151	163	21,170	14	5,580	18	52,300	319,245	1,557	1,870	21,048